

## (農) ファーム志和のアスパラガスが過去最高収量

【平成 30 年 10 月 19 日掲載】

東広島市志和町の(農)ファーム志和(井上修司(いのうえしゅうじ)組合長, 組合員 144 名, 63ha)は, 平成 30 年産アスパラガス(ハウス 8a, 露地 52a)の収量が, 平成 22 年に定植してから過去最高の 1.26t/10a(前年比 123%)となる見込みです。



【10 月 17 日アスパラガス検討会】

2年前まで排水不良や病虫害被害による欠株や生育不良に苦慮していましたが, U字溝による表面排水の徹底, 点滅LEDやキラナシノズル防除等の新技術導入により, 栽培環境は飛躍的に向上しました。今年は, 早春から作業者全員で体系的に基本技術を勉強して, 時期ごとに実技研修と作業改善への意見交換を積み重ねました。

10月17日の検討会では, 全農広島県本部及びJA広島中央から荷姿や販売実績等について助言を受けながら, 一つ一つ作業のポイントを確認しました。収量激増に伴う作業時間の増加が課題となったため, (農)ファーム西田口の収穫作業を動画で研究し, 作業動線の変更や, コンテナ交換等の工夫を行うこととなりました。

今秋のアスパラガスの生育状態は良好なため, 来年は一層の収量向上が見込まれます。作業品質を安定させてスピードアップすることで, 作業負担軽減と確実な黒字化を目指そうと積極的な意見交換をしています。

7月の豪雨災害ではアスパラガスほ場冠水や生活道等への土砂流入に苦労しましたが, 奮起して猛暑にも耐え, 過去最高収量を実現する姿には大きな可能性を感じました。当所は, 今後も関係機関とともにアスパラガス収益拡大に向けて支援します。



【6月21日 茎枯病持出し研修】



【9月26日 細芽などの整理研修】